

精神保健福祉ソーシャルワーク演習

[演習] 第4学年 前期 選択 1単位

《履修上の留意事項》【面接授業と遠隔授業の併用実施】

《担当者名》○向谷地 生良 佐藤 園美 奥田 かおり 鈴木和

【概 要】

精神保健福祉分野におけるソーシャルワーカーとしての専門的援助技術およびリハビリテーション技法の基本的な知識・理論を把握した上で、具体的な事例に即してそれを実施できるようになることが目的である。

精神保健福祉援助実習での体験をもとにして、グループで事例を作成し、面接・グループワーク・SST・心理教育などの実技指導（ロールプレイ等）を行う。

【学習目標】

1. 他職種との連携（チームアプローチ）やネットワーキングの方法が理解できる
2. 援助に必要な社会資源を活用・調整・開発する方法が理解できる
3. 精神保健福祉援助の実践から専門的な支援の視点や在り方が理解できる
4. 実習の個人的な体験を一般化し、概念化・理論化できる

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション	精神保健福祉援助実習（実習）の振り返り 本講義の目的と内容説明 （精神保健福祉ソーシャルワーク演習との関連等についても説明する）	向谷地、佐藤、奥田、鈴木
2	精神保健福祉の基盤整備と開発	アウトリーチ	向谷地、佐藤、奥田、鈴木
3	精神保健福祉の基盤整備と開発	チームアプローチ	向谷地、佐藤、奥田、鈴木
4	精神保健福祉の基盤整備と開発	ケアマネジメント ・当事者主体のケア会議を体験する。	向谷地、佐藤、奥田、鈴木
5	精神保健福祉の基盤整備と開発	ネットワーキング	向谷地、佐藤、奥田、鈴木
6	精神保健福祉の基盤整備と開発	社会資源の活用・調整・開発	向谷地、佐藤、奥田、鈴木
7	実習体験の一般化	倫理的ジレンマ	向谷地、佐藤、奥田、鈴木
8	実習体験の一般化	倫理的ジレンマ	向谷地、佐藤、奥田、鈴木
9	実習体験の一般化	倫理的ジレンマ	向谷地、佐藤、奥田、鈴木
10	課題別精神保健福祉援助事例	精神科リハビリテーション	向谷地、佐藤、奥田、鈴木
11	課題別精神保健福祉援助事例	退院支援、地域移行、地域生活継続 ・退院・地域移行に向けた当事者主体のケア会議(当事者参加)を体験する。	橋本侑治（特別講師） 向谷地、佐藤、奥田、鈴木
12	課題別精神保健福祉援助事例	就労支援	向谷地、佐藤、奥田、鈴木
13	実習体験の概念化・理論化	援助技法と理論的背景	向谷地、佐藤、奥田、鈴木
14	実習体験の概念化・理論化	援助技法と理論的背景	向谷地、佐藤、奥田、鈴木
15	実習体験の概念化・理論化	実習体験の総括	向谷地、佐藤、奥田、鈴木

【評価方法】

プレゼンテーション（ロールプレイ等）60%

レポート（プロセスレコード含）40%

【備 考】

教科書 ： 特になし

その他 ： この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格習得のための「精神保健福祉援助演習（専門）」に該当する

【学習の準備】

プレゼンテーション、ロールプレイ等の準備をする

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,3,4,5

【実務経験】

向谷地生良（精神保健福祉士）、佐藤園美（精神保健福祉士）、奥田かおり（ソーシャルワーカー）、鈴木和（精神保健福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

精神保健福祉士、ソーシャルワーカーとしての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な演習を行う。